

静岡県熱海市土石流災害に伴う緊急消防援助隊活動報告について

- 1 災害発生日時 令和3年7月3日（土）10時30分頃
- 2 発生場所 静岡県熱海市伊豆山371番地1付近
- 3 被害状況 建物被害130棟程度、約20人の安否不明者が発生
※土石流災害発生当初
- 4 総務省消防庁からの派遣要請及び引揚げ通知（派遣期間10日間）
7月3日 13時37分 出動準備依頼
15時20分 湘南地区出動可能隊数を横浜市消防局へ回答
17時08分 消防庁より神奈川県に対し出動の求め
7月12日 10時25分 緊急消防援助隊神奈川県隊引揚げ決定通知を收受
- 5 派遣部隊及び人員 延べ14隊 64人 14台
(1) 第1次派遣隊 3隊 13人 7月3日から7月6日まで
(2) 第2次派遣隊 4隊 18人 7月6日から7月8日まで
(3) 第3次派遣隊 4隊 18人 7月8日から7月10日まで
(4) 第4次派遣隊 3隊 15人 7月10日から7月12日まで
〈内訳〉・・・高度救助隊4隊20人 消防隊3隊15人 救急隊3隊9人
後方支援隊 4隊20人
※ 神奈川県大隊・・・延べ201隊770人
- 6 主な活動状況
(1) 土砂災害が発生した上流付近の倒壊建物を人海戦術により人命検索救助活動実施（丸越酒店付近）
(2) 活動場所を下流に位置する国道135号線付近に移し、土砂に埋もれた建物内の救助活動実施（逢初橋付近）
(3) 災害現場の中流となる伊豆山神社付近に移動し、住基情報を基に安否の確認が取れていない方の住宅の搜索を重点的に実施
(4) 現場はこの時期特有の高温多湿な気候であり、気温が30度を超え、下半身が土砂で埋まりながらの過酷な活動環境であった。そのような環境下のため、体力の消耗が激しく、活動隊員を入れ替えながら、主にスコップ、クワ、バケツ等を活用し、土砂の掻き出し作業を実施
(5) 活動中は断続的に雨が降り、小規模な土砂崩れが発生するなど、緊急退避命令により、搜索活動の中断を余儀なくされた。
(6) 後方支援隊は、宿营地から活動現場まで人員搬送車を活用して、県内消防本部の隊員及び資機材の往復搬送を実施しながら、隊員の疲労度も増す中、体調管理を徹底し、第4次派遣隊まで負傷者を出すことなく後方支援活動を実施

以上
(事務担当 消防局警防課)